

町民のみなさまへ

草津町長 黒岩 信忠

今回は生活インフラ対策について膨大な仕事量になりますが、町長として取り組んできた事業についてお知らせいたします。次回は「100年先を見据えたまちづくり」について広報いたします。

第一、【温泉温水対策事業】

- ① **平成22年度**、町長に就任して直ぐに「湯畑湯枠」の作り替え工事を行いました。黒岩が町議時代、毎年11月頃になると陳情書が議会に上がってきました。湯畑源泉を引湯している宿泊施設から、「ぬるくて困る何とか改善して欲しい」とするものでした。
- ② 議長時代、温泉課職員を同行させ、湧き出る温度と湯滝下の温度を測りましたら1.9度の差がありました。当然ですが、湯枠は温度を下げるための工作物です。これをふまえ、木枠を二重にして中に断熱材を挟み込む工法を考えました。
- ③ 町長になり、このアイデアを取り入れた新たな湯枠に替えたことにより、温度差はわずかとなり、ねらいどおりの効果をもたらしました。引湯している宿泊施設の連名により感謝状を頂きました。工事費1千892万円です。
- ④ **平成24年度～平成26年度**、中央駐車場ポンプ室移転工事費、老朽化に伴う温泉・温水管敷設替え工事、第一配湯所引き込み管敷設替え工事等です。平成26年度、草津温泉バスターミナルを存続させるため草津町が7千805万円で買い取りました。この会社はJRバス関東、草軽バス、西武バスと草津町で設立した共同会社でしたが、実質赤字経営であったため、町が所有する判断をいたしました。合計4億5千666万円になります。
- ⑤ **平成27年度～令和6年度**、立町区・白嶺の湯建て替え工事、昭和区・睦の湯建て替え工事、東殿塚区・長栄の湯建て替え工事、万代鉦源泉貯湯タンク建設、特殊パイプ購入費、老朽化に伴う温泉・温水管敷設替え工事、観光協会をバスターミナルに移転など、50項目、工事費合計は21億1千793万円になります。
- ⑥ 草津町には19の共同浴場がありますが、そのうち13の共同浴場に、温水を取り入れる工事を行いました。工事費をふくめ温水使用料も無料にしたものです。東殿塚区「長栄の湯」の建て替えがきっかけになりましたが、何年も前から各共同浴場に温水設備を入れる考えを持っていました。
- ⑦ 中島団地の各戸に温水は入っていません。女性が髪を洗うとき、台所の流し台で前かがみになり、ガス湯沸器のお湯で洗っている話を複数聞いていました。年齢を問わず、女性にとって「髪は女の命」と言われ、髪で生活が透けて見えると表現もされます。
- ⑧ その大切な髪の毛を温泉で洗うとバサバサになってしまいます。町長として町民の皆様に配慮がたりなかった想いがします。

- ⑨ 前東殿塚区長から、「誰が工事費を持つのか、誰が温水の使用料を払うのか。」と言われましたが、町長が判断したことであり、金を取るつもりはない。工事費はもちろん、使用料も無料にすると回答しました。それは本当にありがたいと感謝をされました。
- ⑩ 当然のことながら、長栄の湯に温水を入れれば、他の共同浴場にも温水を入れることになります。速やかに、他の共同浴場に温水を入れる事業を進めています。
- ⑪ 温泉は、町長といえども自宅には許可されません。許可になるのは宿泊業のみです。これらから共同浴場は住民の利用が優先されるべきだと思います。ただし、各区の考え方に委ねていますが、お客様の利用を否定するものではありません。
- ⑫ 温水を入れることに「やりすぎだ」と一部の人から言われましたが、町民サービスの行き過ぎではなく、この街に暮らす人達にとって、温泉（温水）の恩恵は等しく受ける特典があります。町長として、以前から抱いていた想いを実現できほっとしています。
- ⑬ 多くの女性から共同浴場の温水で髪を洗えるようになって本当に良かった、と感謝の言葉をいただいております。
- ⑭ 温泉課による平成22年度から令和7年度までの総工事費は26億6千400万円になります。

第二、【万代鉱源泉復旧対策事業】

- ① 万代鉱源泉のトラブルを解決するのに1年2ヶ月かかりました。令和4年9月21日～23日の3日間で温泉基地の取り込み数量が通常の55%まで減少、温泉行政が立ち行かなくなる大問題で、とてつもない不安と恐怖心さえ覚えました。
- ② もし改善がなければ、万代鉱源泉および温水の供給量不足、融雪道路システムの崩壊、西の河原露天風呂冬季間の営業停止、各共同浴場の湯量不足等が現実のものとなります。まして、温泉門湯滝・足湯などは論外になります。
- ③ 万代鉱の現地は、そそり立つ高い壁、坑道入り口付近で噴き出す高濃度の硫化水素、超高温泉、猛烈な湯気（湯気で目がやけどするレベル）など、非常に過酷な環境で、復旧工事は困難を極めました。
- ④ 町外の建設業（スーパーゼネコンを含む）、専門業者に調査と復旧工事を依頼したところ、当社の技術では対応できないと断られてしまいました。
- ⑤ 我々が判断したのは、坑道の劣化を防ぐため、岩石で入り口をふさいでおり、そこに土砂が堆積して源泉を堰き止めていると考えました。その岩を取り除く計画を立てましたが、そそり立つ高い壁下の工事になり、きわめて危険な作業になります。
- ⑥ 四面楚歌の中、地元土木会社の社長が名乗り出て、「町長からの指示があれば、うちの会社が作業をします。但し、将来がある若い者にはさせません。自分がやります。」と、申し出てくれました。
- ⑦ 可能なかぎりの安全対策を取っていましたが、もし何かあれば全ての責任は黒岩町長にある。私は町長を辞職する覚悟を持って復旧工事に臨んでいました。
- ⑧ 心苦しさを感じながらも、その心意気を受け止め挑戦するXデーを模索していましたが、時を同じくして、町長が姉妹都市交流でドイツ・ビッシンゲン市へどうしても行かざるを

得なくなり、黒岩の留守中は**危険な作業**をしてはならないと告げておきました。

- ⑨ この作業とは別に、地中から僅かの湯煙が出る所があり、原因を突き止めるため、管工事業の方が掘削をしましたが何も出てきませんでした。いくら掘っても同じで、重機のアームが届かず、湯気が減少するようになりました。工事関係者の見解は、降った雨が地熱により暖められ、それが湯気になっていると結論づけました。
- ⑩ しかし私はどうしても納得できず、工事人に掘削面積を広げ、そこに重機を降ろし深く掘り下げる工法を提案してドイツに向かいました。
- ⑪ ドイツに副町長と管工事業の方から電話があり、「**町長漏湯が見つかりました。町長すごいですね。町長の根性が見つけたことになります。数量は2,000Lほどです。**」工事人から説明と漏湯の動画がLINEで送られてきました。ドイツとの時差が7時間あり、日本時間に合わせドイツから指示を出していました。
- ⑫ 万代鉦源泉の減衰は、坑道内の落盤が引き金になり、引湯管、集湯枡、沈砂槽からの漏湯など複合的に重なったと判断しています。なお、坑道入り口の岩石を取り除く工事は保留にしています。
- ⑬ 既述した温泉課の工事費に万代鉦復旧工事費は含まれますが、**万代鉦関連の工事費は8億6千958万円になります。特殊な湯貯タンクの設置費およびパイプ購入費が87%で、危険な復旧作業に要した事業費は1億円ほどです。改めて、危険を顧みず作業にあたった方々に感謝とお礼を申し上げます。**
- ⑭ **我々は、当たり前のように万代鉦源泉の恩恵を受けてきました。しかし、今回それは『永遠でない』ことを思い知りました。湯量の減衰は未来からの警鐘と捉え、『歴史的な危機に直面した』ことを忘れてはならないと思います。**

第三、【生活インフラ対策（道路整備、融雪）関連】

※その1、融雪工事業

- ① 平成22年度～令和7年度、草津町地内の道路に融雪工事をしてまいりました。
- ② 冬季間、町民の皆様と草津町を訪れるお客様の足元を確保する。温泉温水により大規模な道路融雪を行っている所は草津以外ないと思います。CO2を削減するサステナブルな取り組みで世界に誇れる事業だと思います。黒岩が町長に就任してから43ヶ所の融雪工事を行いました。**工事費の総額は8億7千600万円になります。**

※その2、道路改良・維持補修工事業

- ① 平成22年度～令和7年、草津町が管理する町道の61ヶ所について改良と維持補修事業を行ってまいりました。**工事費の総額は6億1千600万円になります。**
- ② 昔に整備された町道は簡易舗装道路で、冬になると凍上がり春になるとガタガタなになってしまいます。判っていても予算不足で穴埋めの応急措置でしのいでいました。この簡易舗装道路を凍上らない道路にやり直す計画を立てています。令和7年度で4カ所の工事をしていますが、引き続き道路再整備事業を進めていかなければならないと思います。

第四、【上水道事業費】

- ① 平成22年度～平成25年度、石綿管対策工事、1億2千898万円。平成26年度～平成30年度、老朽化対策費1億1千659万円。水道橋掛け替え工事1億850万円。令和元年度～令和7年度、老朽化対策費4億3千168万円。第6接合井～第8接合井更新工事などです。
- ② **特に、冬季間水不足が問題となりますが、長笹川からの取水事業を行ったことにより水不足を解消することができました。事業費の合計13億9千万円になります。**

第五、【下水道（既存の処理場施設維持管理）】

- ① 平成22年度～令和7年度まで、32ヶ所の工事を行いました。**総合計9億7千100万円になります。**
- ② **新たな下水道処理施設を建設中ですが、令和4年度～令和7年度に行なった工事費は、合計55億1千500万円になります。今後も新設工事を進めなければなりません、総額100億円を超えと思います。国からの補助、交付税算入はありますが、徐々に減らされています。非常に大きな負担になりますが、仕上げていかなければなりません。**

第六、【クリーンセンター（ごみ処理対策）関連】

- ① 現在のクリーンセンターは老朽化が進み、毎年多額に修繕費をかけて運営しております。
- ② **平成23年度～令和7年度までの維持管理費は7億9千600万円になります。**
- ③ 吾妻郡の6町村が共同で建設運営する新たなクリーンセンターは総額120億円以上かかる見通しです。多額の建設費と運営費になりますが、行政の基本的な仕事であり進めていかなければなりません。

第七、【防災・防犯・危機管理対策関連】

- ① 平成22年度～平成27年度、東日本大震災の被災者受け入れ6千682万円。防災無線同報系更新工事4千968万円。平成27年度、防災行政無線同報系子局更新9千504万円など、**令和7年度まで26項目の事業費は4億1千500万円になります。**

第八、【常備消防対策費（吾妻広域町村圏消防広域への負担金）】

- ① **平成22年度～令和7年度までの負担金は22億2千200万円になります。** この中には西部消防署に配備される屈折ハシゴ車（6町村で負担）が含まれます。

第九、【非常備消防対策（草津町消防団出動手当・報酬）】

- ① 草津町消防団員の出動手当・報酬になります。**平成22年～令和7年で1億400万円になります。団員の皆様には消防業務に取り組んでいただき、ありがとうございます。慰労と感謝を申し上げます。**

第十、【草津白根火山対策及び災害備蓄対策費】

- ① 白根火山ハザードマップ作成1千200万円、乳児用ベッド、自動式ラップトイレなど、**平成22年度～令和7年度まで、36項目事業費合計7千100万円になります。**